

昭和48年1月13日第3種郵便認可HSK通巻491号 発行/北海道障害者団体定期刊行物協会
発行日/2013年2月10日(毎月10日発行) 1部50円(会費を含む)
編集/白老町手をつなぐ育成会 佐藤春光 会報/197

HSK

ほほえみ

2013. 2月号



白老町手をつなぐ育成会

地域で生きる障がい者

社会福祉法人ホープは、白老町の知的障がいのある子どもを持つ親が中心になって、障がい者が地域で普通に暮らせることを願って設立しました。障がい者は、小さいときから自らの障がいと、社会的な準備の遅れによって、重たい荷物を背負わされてきました。

白老町の障がい児も、就学免除という制度で学校に行けなかった時代。就学が義務化されたが、障がい児学級が町内に1校という時代。それらの時代は、本人と家族に重たい荷物がたくさん背負わせられていました。兄弟がいる場合、兄弟は別々の学校に通わなければなりません。運動会や学芸会が同じ日にあることもありました。そんな時は、家族が別れ別れになりました。学童期を過ぎ、高校に行く時代も大変です。障がい児の特別支援学校は、間口という考え方により校区が全道に広がり、白老から一番近い高等養護学校が、伊達高等養護学校なのです。ですから伊達に入れなかった子ども達は、札幌、岩見沢、今金、雨竜の高等養護学校に通ったのです。そんな遠くの学校に寄宿して通う子ども達を、金曜日に向かえに行って日曜日には送っていくのです。熱が出た、風邪をひいた日にも迎えに行かなくてはなりません。1年の半分家にいた子どももいました。引きこもり傾向の子や不登校ぎみの子は、家にいるだけでした。

通所の作業所が必要な訳

知的障がい者が就職できるのは、運の良い2～3割程度、しかも運良く就職できたとしても不景気や会社の都合で行き場を失ってしまいます。そんな障がい者の地域生活を支える目的で作られてきたのが通所の作業所なのです。

しかし、作業所の役割はそれに留まりません。ちょっと力をつけると生活支援もできるようになります。グループホームの運営に手をだすことも出来ます。障がい者の生活を豊かに支援することができるのです。何の支援もなければ、生活が乱れたり、計画的に家計を運営できないため、経済的に破綻し犯罪に手を染める知的障がい者が多数いるのです。生活支援と結びついた労働支援が必要なのです。

ですから、地域の障がい者を支援する基礎が、作業所だと思ふのです。人間は働くことによって、他の人との協力や共同の力を身につけるものだと思います。働くことによって、他の人の痛みや思いやりを学ぶことができるのだと思います。働くことによって、人間が育っていくのです。

なぜ登別に作業所を作るのか

少子化と言われ、子どもの減少が続いていますが、障がい児学級の数が増え、児童数も増え続けています。この傾向は、白老も登別も、全道・全国も同じです。

登別の人口は、白老の約2, 5倍ですが、登別の作業所の受け入れ可能な定数は白老の半分しかありません。フロンティアだけでも9名が登別から通所しています。隣のポプリや室蘭・伊達の作業所にも通っている人が多数います。しかし、最も多いのはどこにも働きにいかないで自宅にじっとしている人だと思えます。

フロンティアでは、この間登別の障害者団体や登別市手をつなぐ育成会との話しあいを通じてきました。そして、登別の障害当事者や支援者の、通所作業所が欲しいという願いに応えることを決めたのです。

私たちの合い言葉は、「自宅で息を潜めて暮らす障がい者を一人もなくする」事です。障がいがあってもなくても、人間は社会の中で育ててこそ人間らしい一生を全うできるのだと思えます。登別には障がい者が集い、交流し、働ける場所がまだまだ必要なのだと思えます。

最低限必要な空間は

利用者の安全・安心を考えますと、あまり町の真ん中では落ち着かなかったり、交通事故の心配もあります。ですからある程度独立した場所が適していると思うのです。事業所としての送迎や保護者の送迎も考えますと、ある程度の駐車場の広さも必要です。できれば、登別温泉に近く、フロンティアの製品を温泉のホテルで売ることができたら・・・等と虫の良いことも考えました。

そこで最適と判断したのが、中登別地区なのです。中登別は、白老と比べると雪が多いところです。ですから除雪車が必要です。トラクターで除雪できる道具がついているのも良いと思えます。中登別という場所を考えると、送迎は必須になります。そうするとマイクロバスが必要になります。土地の広さを考えると草刈り機も必要になります。

建物で考えますと、作業室、休憩室、調理室、男女更衣室、医務室、談話室、男女トイレ、事務室等が必要です。ですから70坪以上必要になってくると思うのです。また、トイレ等を含めバリアフリーが求められます。できればの議論をすれば、お風呂（駄目なときはシャワー）や食堂も欲しいところです。かなわぬ望みですが体育館もとっても欲しい施設です。運動不足から肥満になりやすい利用者にとって、高望みではあるけれどあったらとっても助かる施設なのです。

資金はどうする

設置場所が決まったなら、事業計画を立てたいと思います。今のところ総額で3,000万円以内で設備備品はおさめようと思っています。運転資金の一部は登別市手をつなぐ育成会と社会福祉法人ホープが用意することになっていますが、持ち金としては600万円程度しかありません。ですから、3,000万円の設備資金は借入金で用意しようと思っています。銀行から借りますと金利が高いので、できれば会員や後援会員から5年間無利子で借入出来ればと考えています。50万円一口のフロンティア債60口の発行で何とかしようという虫の良い資金計画です。ただし、毎年年末に利息の5倍相当分のフロンティアの製品（お菓子、卵、鹿缶、パン、入浴剤、燻製の卵、乾燥スライス椎茸、鮭とば、その他）と会報が届けられます。

蛇足

つい先日、息子のお年玉の定期預金の金利の知らせがきていました。1年で0,03パーセントの利息でした。利息が3円ですから20パーセントの税金を引くわけにもいかず、そのままの金利がついていました。これが10万円だったら金利が30円で税金が6円引かれますので24円手元に来る計算になります。そうすると100万円で240円の利息がつくことになります。240円の利息を手にするか・・・1200円相当のフロンティアの製品と社会貢献を手にするか・・・それが今年のお盆過ぎに会員と後援会員の皆さんに迫りたい選択です。

ホームページの開設

昨年末、社会福祉法人ホープのホームページを開設しましたが、最初はホープ・フロンティアでキイを打ってもなかなかホームページが出てこないの、茶連慈・フロンティアで検索することを薦めましたが、たくさんの方が見てくれたせいか、「ホープ・フロンティア」でも2番目に出てくるようになりました。まだの方は是非覗いてみてください

【 新発売 フロンティアの^{たまごくん}卵燻 】1個100円
とっても美味しい半熟の燻製卵です。一度食べてみる価値あります



↑
←森野スキー場

スキー同好会の援助で、歩くスキーをやりました。



札幌雪祭りに、車2台に便乗して行ってきました。とっても楽しかったです。



ふろんていあ♡メール
Frontier

就労支援施設
フロンティア MAIL
2013年2月号

〒059-0922
白老町萩野310-110
TEL・FAX0144-83-3537

昨年高等養護学校を卒業した息子が4歳の時に、自閉症と診断され「自閉症って何？治るの？治らないの？」と混乱して受け止めきれない私に「とにかく今できることをしてあげましょう。5年後にあの時しておけば良かった・・・と後悔しないように」とDrに言われて、障害がある、ないにこだわって時間が過ぎていくよりも、豪雨のような気持ちが青空のようになって（障害がある、ないにこだわって時間が過ぎていくよりも、何か一つでも身につけられるようにと前向きになって）からあっという間の15年でした。

この言葉は現在は利用者さんとの関わる上で私の原動力です(*´▽`*)

さて、お昼休みはそれぞれの過ごし方で過ごしていますよね。

更衣室の中でゴロゴロしている人。

イヤホンから音漏れするほどの音量で音楽を聴いている人。

大好きなAKBグッズを持ち歩いて披露してくれる人。

ソファでゴロゴロしている人。

そして、



テレビのボリューム35にこだわっていましたがIさん、「聞こえないよお」「新年だからもう少し頑張ってみよう！」で、ボリューム音量43から45まであげてくれるようになり、しかも、話しかけてくれるようになりました。

とにかく行事に参加したくないSさん。行事に参加しなくていいように休みをぶつけようと言っていましたが、策略はうまくいってますか？そう言わずに、楽しめる方法を探しましょう

対話を楽しむようになって？声をかけてもらえるよう、ニヤニヤを抑えきれないUさん。自分を動物に例えると、きつねなんだよ！ズル賢いんだよ(*^*)v・・・と、嬉しがらずに・・・

最近、外販にいけるように中での仕事を頑張っているSさん。外販はフロンティアの顔です。外販以外の仕事も少しずつ集中する時間を増やしていつて、人にも優しく、次回の外販では卒業した学校の先生に胸を張って、「頑張ってます」と言えるといいですね

「たくさん勝手に休んでごめんなさい」と言えずにいる？はずのSさん。

いつまで待ったらあなたから声を掛けて来てくれるのでしょうか？

昼休みは、人間一人一人違うように、過ごし方もさまざまですね。

先日は、フロンティアの雪祭りツアーに参加できなかったNさん。悲しさ？諦めきれない気持ちでいたずらを始めようとしていましたが、昼食準備をお願いしたら・・・最後の最後まできっちり手伝ってくれました。割り箸を25人分数えてねとお願いすると・・・照れくさそうに、「数えれない」いうので、10膳のかたまりを2つ作ってねと言ったら、あっという間に数えたので、11以上の数を数えるのが難しかったですね。「Nくんのおかげで、あっという間に準備が終わったよ」と言うと、「みんなの前でそのこと言ってね」と言うので（本心？）みんなの前で、言ってみました。そうすると、とても満足王子になって、片付けまでも手早く終えて帰ってました。

こんな、あからさまな褒め方で良いのですね 。°+.(*)`・▽・´*(*)°+.

フロンティアのほんの1部分の紹介でした



今月の茶連慈情報

2月19日(火)はシュークリームの日 1コ 120円

2月23日(土)は ひなまつりセール

わかさ本舗協賛で、桜餅、わかさまんじゅう

フロンティアでは、ひなぶりん(さくらの陶器入り)限定30個

さくらシフォンケーキ を販売予定です

皆様、ご来店お待ちしております

入学・卒業・転勤などに・・・

お祝い・お礼・ご挨拶など、ご予算に応じて 箱詰め等 詰め合わせいたします。

詳しくは、ホームページをご覧ください。

URL <http://happy-job-frontier.org/>



ほほえみ197号

昭和48年1月13日 第3種郵便物認可
2013年2月10日発行(毎月10日発行)
H S K通巻番号491号 1部50円
編集/〒059-0922

北海道白老郡白老町字萩野310-110
白老町手をつなぐ育成会 佐藤 春光
TEL 0144-83-3537

発行/〒063-0868

札幌市西区八軒8条東5丁目4-18
北海道障害者団体定期刊行物協会
細川久美子 (TEL 011-736-1724)